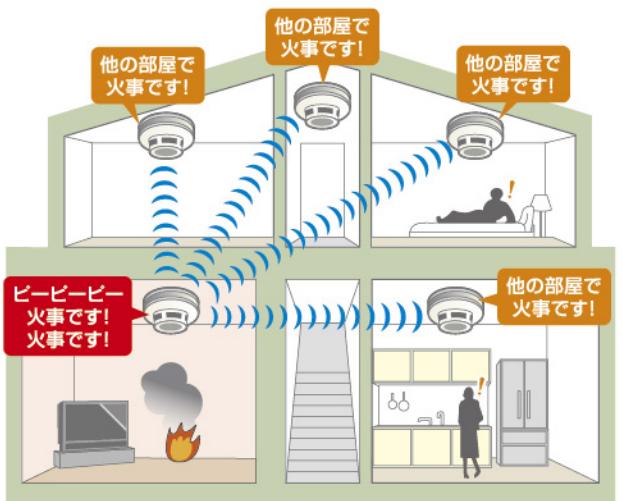


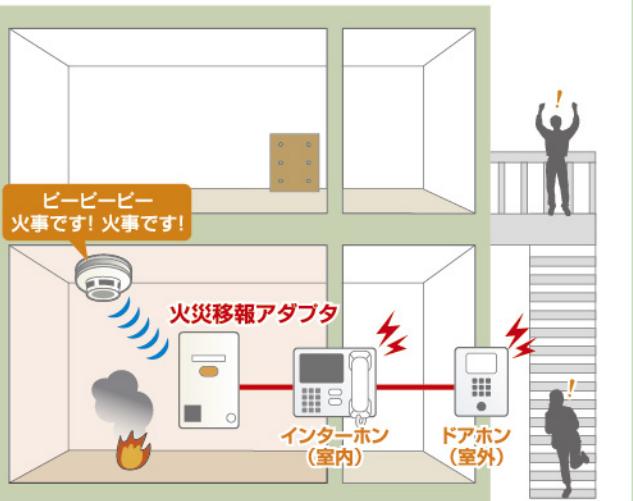
こんな便利で安心な住宅用火災警報器もあるよ!

火事を感知したら
全部の感知器に知らせる連動型



その他に「フラッシュライトで知らせる機能」や「携帯電話へ知らせる機能」がある便利なものもあります。

外へ知らせる機能



住宅用火災警報器を設置することで 地域の防火体制が強化されます!

住宅用火災警報器を設置していることで、周囲の住宅に広がることなく、「ぼや火災」や「火災に至らなかった」事例が多くあります。

また、住宅用火災警報器の警報音に気が付き119番通報された約半数は、実は近隣住民の方からの通報によるものです。

地域の皆さんも、住宅用火災警報器を設置すれば、地域全体の防火体制の強化にも繋がります！

不適切な訪問販売などに注意！

消防職員や点検業者などを装って訪問し、言葉巧みに警報器の設置や点検を勧める業者には注意しましょう。

不審・不安に思われたら、最寄りの消防署又は、横須賀市内の方は横須賀市消費生活センター（TEL 821-1314）・三浦市内の方は三浦市消費生活相談窓口（三浦市役所市民部市民協働課 TEL 882-1111）にご連絡ください。

※住宅用火災警報器は、資格者による点検義務はありません。ご自分で維持管理しましょう。

お問い合わせ先

横須賀市消防局

● 予防課 ☎ 821-6466

● 中央消防署 ☎ 820-0119

● 北消防署 ☎ 861-0119

● 南消防署 ☎ 836-0119

● 三浦消防署 ☎ 884-0119

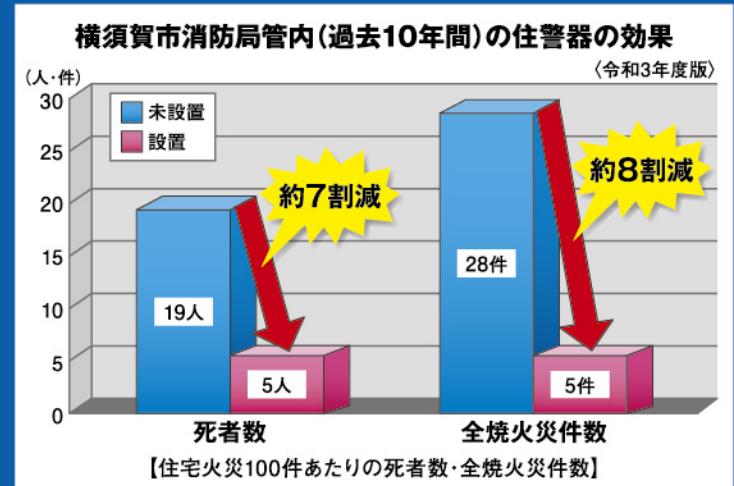
設置しよう！点検しよう！あなたと家族を守る 住宅用火災警報器！

あなたの命はこの 警報器が守る

過去の住宅火災から
住宅用火災警報器の
効果が立証されています！

警報器を設置すれば

死者は約7割減
全焼火災は約8割減



警報器の種類は煙式と熱式の2種類



煙式警報器

煙を感じて音や音声により、火災の発生を早期に知らせるものです。



熱式警報器

熱を感じて音や音声により、火災の発生を早期に知らせるものです。

多くの火災では、煙がいち早く天井等に届くため、熱式警報器より煙式警報器の方が早く知らせてくれます。

どこにどの種類の警報器を取り付ければいいの？

煙式警報器

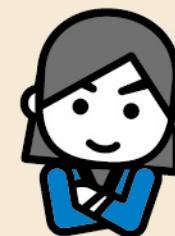
寝室・台所・階段に取り付けてください。

熱式警報器

台所のみ取り付けることができます。

※台所には煙式・熱式どちらでも取り付けられますが、調理中にあまり煙が出ない場合は煙式の取り付けをお勧めします。

取り付けたり、交換するのに
お金がかかるな～
高いだろうな～



でも、よく考えると！
これを10年間使えたら
1日にすると〇〇円！
それで家族が安心して
暮らせるなら安いかも！

住宅用火災警報器を設置する場所と取付位置

警報器設置例早見表

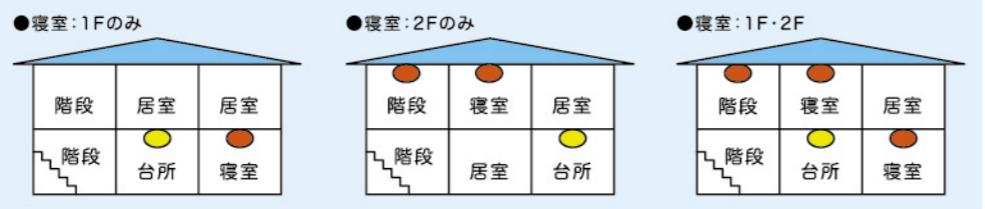
凡例
● 住宅用火災警報器(煙)
● 住宅用火災警報器(煙又は熱)

備考: 1 寝室と台所には、必ず設置することとなります。 2 居室とは、7m以上をさします。

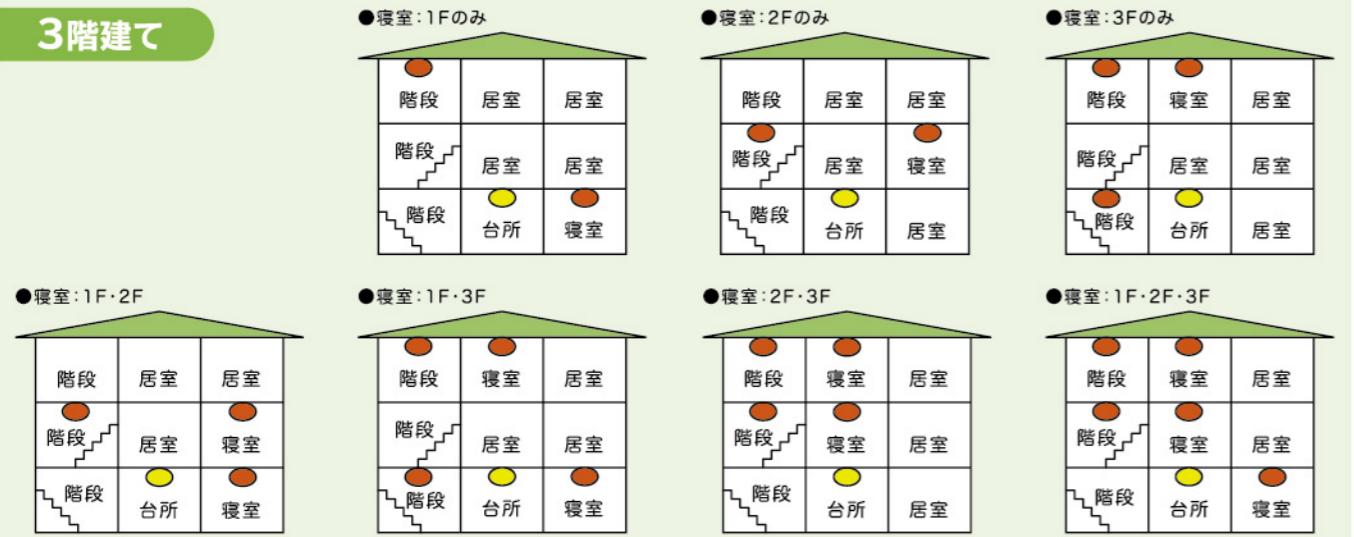
1階建て



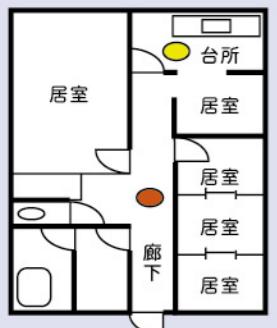
2階建て



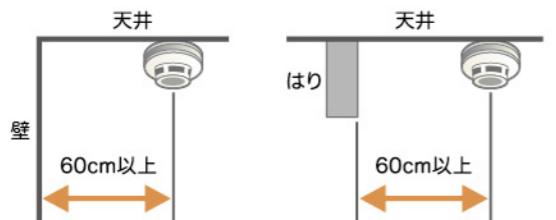
3階建て



警報器の設置がない階で
居室が5以上ある場合



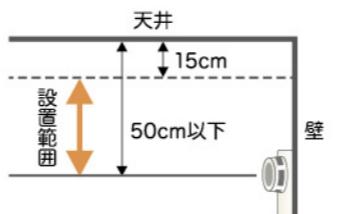
天井に取付ける場合



エアコンのある場合



壁に取付ける場合



※機器が有効に機能するために、取付ける位置に注意しましょう。

※煙や熱の流れを妨害する「はり」や「空気の吹出しが」付近には設置しないようにしましょう。

※多くの住宅用火災警報器は電池式で、ドライバー1本で天井や壁に取り付けることができます。

どこで売ってるの?

防災用品取扱店、家電量販店、ホームセンター、町の電気店、ガス販売店などで購入できます。
購入するときには、検定マークが付いているものを見ましょう。



住宅用火災警報器を付けている方へ

電池切れでイザ! という時に困らないように!!

定期的に作動確認を しましょう。

住宅用火災警報器は電池が切れると
作動しなくなります。



- 定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認を行ってください。
- 作動確認の方法は機種によって違いますので、取扱説明書をご覧ください。

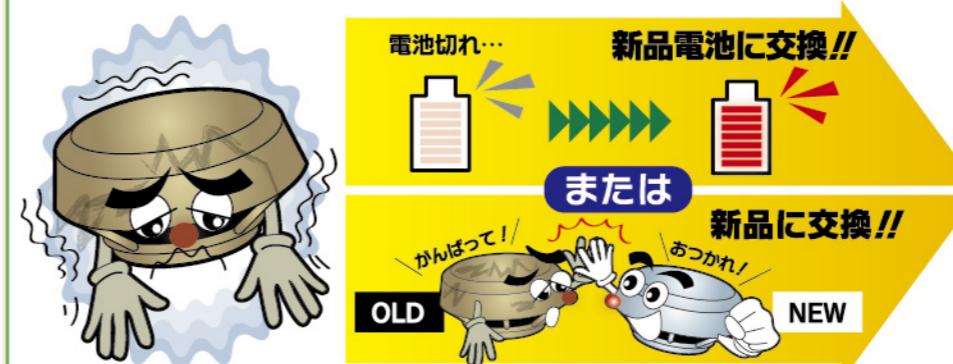
汚れていたら お手入れをしましょう。

警報器はホコリなどが付くと誤作動をする場合があります。



- 汚れている時や定期的に乾いた布などで汚れやホコリを取り除きましょう。
- お掃除の方法は機種によって違いますので、取扱説明書をご確認ください。

設置後10年を目安に交換してください。



- 定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認を行ってください。
- 作動確認の方法は機種によって違いますので、取扱説明書やメーカーのHPをご覧ください。



住宅用火災警報器の発報事例

鍋をコンロにかけたまま外出!!



一般住宅の住人が、鍋に火をかけたまま外出したことから内容物が焦げ、警報器が発報したことにより、付近の通行人が警報音に気が付き、119番通報し、消防隊がコンロの火を消したことでの大事には至りませんでした。

夜中の住宅火災で命が助かった事例!!



自宅で就寝中、住宅用火災警報器の音で目を覚ますと、使用していた電気ストーブに布団が接触し煙が出ていたため、流しにあった桶に水を汲み消火したことで、大事には至りませんでした。